

令和7年度

清瀬市春季軟式野球大会

プログラム



主催 清瀬市体育協会
清瀬市軟式野球連盟

事務局 〒204-0004 清瀬市野塩4丁目26

TEL 042-494-8135

FAX 042-493-0024

ホームページ

<http://清瀬市軟式野球連盟.com/>

令和6年度 清瀬市軟式野球連盟 役員・審判員

職名	氏名
名誉会長	澁谷 桂司 (清瀬市長)
相談役	上松 忠
会長 理事	支部長 東連評議員 山下 晃
副会長 理事	熊田 義高
副会長 理事	内山 勇
副理事長	大島 正治
副理事長	東連審判幹事 瀬谷 真
理事	東連運営委員 原口 和之
理事	大会運営担当 原田 政美
理事	岩本 信行
理事	少年部長 東連少年幹事 体協理事 山下 修男
理事	少年部担当 松尾 謙吾
理事	大会運営担当 宮澤 健弥
理事	深田 恵一
理事	事務局 小林 正夫
事務局	小林 悦子
監事	鎌田 貞夫

職名	氏名
審判 副部長	松尾 謙吾
審判 副部長	東連選抜 審判員 宮澤 健弥
審判員	熊田 義高
審判員	上松 忠
審判員	東連選抜 審判員 瀬谷 真
審判員	大島 正治
審判員	岩本 信行
審判員	佐野 大喜
審判員	馬場 拓也
審判員	小林 正夫
審判員	少年部 菅野 保之
審判員	少年部 関野 一教
審判員	少年部 高見 爽太
審判員	少年部 加藤 正行

令和7年度 清瀬市春季軟式野球大会 実施要領

1. 主催 清瀬市体育協会・清瀬市軟式野球連盟
2. 日程 令和7年2月16,23日 3月2,9,16,23日（各日曜日）
3. 会場 清瀬内山運動公園野球場A
4. 参加申込 令和7年1月11日(土)～1月19日(日) 連盟事務局
監督会議 令和7年1月25日(土) 清瀬けやきホール 2階 第1会議室
午後6時20分～6時40分まで受付、6時40分開会
5. 試合球 ケンコーボールM号
6. 参加資格 下記①②の男女で編成するチーム。
①登録人数が10名以上25名以内（監督を含む）
②東京都内在住・在勤・在学者（小・中学生を除く）
ただし、隣接地域登録（勤務地、居住地両方が神奈川・埼玉・千葉・山梨）の選手は、参加申込書総選手数の1/3を超えない範囲で登録可。
7. 連絡事項
 - ① 清瀬市軟式野球連盟 年間登録料は16,000円、大会参加費は22,000円と傷害保険料1人100円×登録人数 が必要となる。
また、全日本軟式野球連盟 年間登録料
1チーム1,200円 1人200円×登録人数
東京都軟式野球連盟 年間登録料
1人600円×登録人数 が必要となる。
 - ② ・小雨でも球場使用可能な場合は試合を行う。
・雨天の際は、午前7時以降に各グラウンドの携帯電話に連絡すること。
内山A 070-1345-8168
・日程変更は火曜日以降に連盟事務局042-494-8135に確認するか（午前9時～午後6時）、ホームページにアップされた情報を確認すること。
（ホームページ <http://清瀬市軟式野球連盟.com/>）
 - ③ 今大会の試合方法は、トーナメント方式（東京都大会に準ずる）9回戦 2時間15分制限で実施する。
 - ④ 試合中ファールボールは必ずベンチ側が拾いに行くこと。
 - ⑤ グラウンド・ベンチの清掃については各チーム責任をもって行うこと。

- ⑥ 各会場とも駐車場が少ないので、車はなるべく乗り合いで来ること。
- ⑦ 英文字のみ及び日本語と英文字単語の複合チーム名を登録する場合は、英文字部のカタカナ読みを併記すること。なお、プログラム及び記録表の表記はカタカナを使用する場合あり。
- ⑧ 規定回数終了時点（延長を含む）で完全試合・ノーヒットノーラン試合を達成した投手は総会で表彰を行う。なお、該当チームは試合終了後直ちにスコアブックを本部に提出すること。ただし、コールドゲームや規定回数に達しない試合は、参考記録とし表彰の対象とはしない。
- ⑨ 春季大会における支部代表派遣チームは下記の通りとする。
- 優勝チーム 令和7年度東京都夏季大会
- ※有資格チームが出場を辞退した場合は、次の成績上位チームを推薦する。
- ※上記以外でも連盟の推薦により上部大会に出場する場合あり。 改訂 2020.3.21
- ⑩ 審判は、試合当日の担当人数により、審判2人制になる場合があります。
- ⑪ 動画の撮影について、可能ですがSNS等一般公開をしないようお願いします。

令和7年度清瀬市軟式野球大会 トーナメント方式注意事項

清瀬市軟式野球連盟

【競技運営に関する注意事項】

清瀬市軟式野球大会トーナメント方式は、東京都軟式野球連盟の規程、細則、公認野球規則競技者必携及び本取決め事項を適用する。

1. 一般チームの登録人数は、男女を問わず10名以上25名以内。
 - ① 大会でベンチに入れる人員は監督を含む選手9名以上25名以内
 - ② チーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
 - ③ 背番号は監督30番、コーチ28・29番、主将10番として、選手は0番から99番までとする。ただし、監督及びコーチは選手と兼任できる。
 - ④ 参加登録資格は、東京都内在住・在勤・在学者（小・中学生を除く）

ただし、隣接地域登録（勤務地、居住地両方が神奈川・埼玉・千葉・山梨）の選手は、参加申込書総選手数の1/3を超えない範囲で登録可。

2. 抽選会等連盟の会議や通知等で説明を受けた事項または決められた事項はチーム全員に必ず徹底させること。
3. 試合を行うチームは、試合開始予定時刻30分前に大会指定の打順表と未使用の試合球2個を本部に提出して、照合を受けること。この場合、打順表には遅れている選手も含め、試合に来ると思われる全員の名前を記入し、試合開始時にいない選手は口頭で審判員に報告すること。なお、第2試合以降のチームは、試合開始30分前までに本部に提出すること。照合終了後、両チームの監督、主将、又は代表者によって好守を決める。
4. 試合開始予定時刻になっても球場に来ないチームは原則として棄権とみなす。開始時及び終了時に9名以上いない場合も同様の措置をとる。
5. 参加申込提出後の選手の追加、変更並びに背番号の変更は原則として認めない。
6. 登録及び試合に於いて不正を行ったチームに対する措置
 - ① 試合中に発見された場合は、相手チームに勝利を与える。
 - ② 試合終了後に発見された場合は、次の対戦チームに勝利を与える。
 - ③ 決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームを優勝チームとする。
7. 大会秩序を乱し、その進行を妨げる行為をした場合は当該選手とチームに対して大会役員の合議により相当の措置をとる。なお暴力行為を行った選手は理由の如何を問わず、直ちに退場させるとともに出場停止処分を行う。また放棄試合は絶対に許されない。
8. ベンチ内での電子機器（携帯電話・パソコン等）及び携帯マイクの使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。また、メガホンの使用は認める。
9. 球場内ではトスバッティングのみ認める。ベンチ前でのサイドノックも認める。
10. ボール回しは禁止する。
11. 第2試合以降のバッテリーのブルペン使用は、打順表を提出し照合を受けたのち、先発バッテリーに限り前の試合の7回終了または1時間45分を経過した後、投球することを認める。
12. （公財）日本体育協会が制定するスポーツ憲章並びに（公財）全日本軟式野球連盟の当該年度競技者必携を遵守し、球場内外を問わずマナーに充分留意すること。

【ユニフォーム、装具について】

1. 装具の使用は公認野球規則で規定されているもののほか、次に定めるものを装着または使用しなければならない。
2. ユニフォームは同一チームの監督、コーチ、選手が全員同色、同形、同意匠でなければならない。なお、帽子は全員同色、同形、同意匠のものを着帽すること。
アンダーシャツ、ストッキングは全員同色のものであること。
(スパイク同色規定は削除)
3. 袖の長さは両袖同一で、左袖に都名または支部名をつけることが望ましい。左袖には他のものをつけてはならない。
4. 胸のチーム名は、日本字、ローマ字のどちらでもよい。胸や右袖には社標、商標やクラブのマスコットマーク等をつけてもよい。基本的に上部大会出場チームが背中に個人名を入れる場合は背番号の上にローマ字で姓のみとする。
ただし、入れる場合はチーム全員が入れること(同姓がいる場合は名前の頭文字を入れてもよい)。
5. 背番号の規格は最小限15.2センチ以上。最大限長さ21センチ、幅16センチ、太さ4センチ以内とする。
6. バットは一本の木材で作った木製バットのほか、竹片、木片などの接合バットであること。木製バットについて公認制度はない(着色の制限はある)。
7. 金属・ハイコンバット(複合)は連盟公認のマーク(J.S.B.B.)のついたものを使用すること。使用の区分は、一般用と表示されているものを使用すること。
令和5年度より、ミズノ ビヨンド マックス レガシーの使用を禁止します。
素振りリング、素振り用鉄パイプは球場に持込む事を禁止する。
8. 後付けフレアグリップの使用については、専用のテープ等で完全に固定・被覆されたならかな形状のものであれば使用を認める。
9. 捕手は、連盟公認(J.S.B.B.)のマスク(スロートガード付)、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメット(S・Gマーク付き)、ファウルカップを装着しなければならない。
10. 打者、次打者、走者はS・Gマークの入った連盟公認(J.S.B.B.)のヘルメットを必ず着帽すること。イヤーフラップは両耳が望ましい。
11. ベースコーチはヘルメットを必ず着帽すること。(イヤーフラップは両耳が望ましい)
12. 投手のサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
また、野手が帽子のひさしの上に乗せることを認める。
13. ネックウォーマー(黒色・紺色・灰色系)の使用を認める。(投手は除く)
14. アームスリーブの使用を認める。野手は長さ・色等の規制はないが(片方だけでも可)
投手はアンダーシャツと同色で、両袖着用とする。

【大会規則】

1. 規則はグラウンドルールで特に決められた以外は、本年度公認野球規則及び競技者必携に準ずる事とする。
2. ベンチは組合せ抽選番号の若い方を一塁側とし、攻守は両チームの監督等のじゃんけんで決める。
3. すべての試合は9回戦とし、2時間15分をもって新しいイニングに入らないこととする。
例えば、負けている先攻チームの第3アウトの成立が2時間15分を過ぎていればその時点で終了。また、勝っている後攻チームの攻撃中に2時間15分を過ぎた場合は、その時点で試合終了とする。その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。
なお、延長戦は行わず、9回完了または制限時間を過ぎて同点の場合は、タイブレーク方式（無死1・2塁で継続打順）で行う。ただし、タイブレーク方式は2イニングとし、なお同点の場合は最終守備者が同一ポジションの抽選で勝敗を決定する。
得点差によるコールドゲームを全ての試合に適用する。5回10点差、7回7点差。
4. 正式試合の成立は5回完了時とするが、5回以前でも規定時間に達したならば試合は成立する。規定のコールドゲーム、あるいは暗黒降雨などで規定の回数に試合が進行していない場合、すなわち、ノーゲーム（5回以前）になる回数するときでも特別継続試合として行う。
5. 監督またはコーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
6. タイムの制限・・・
捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
7. 監督・主将不在でも試合は認めるが、代理を必ずメンバー表に明記すること。
8. 指名打者（DH）ルールを使用できる。

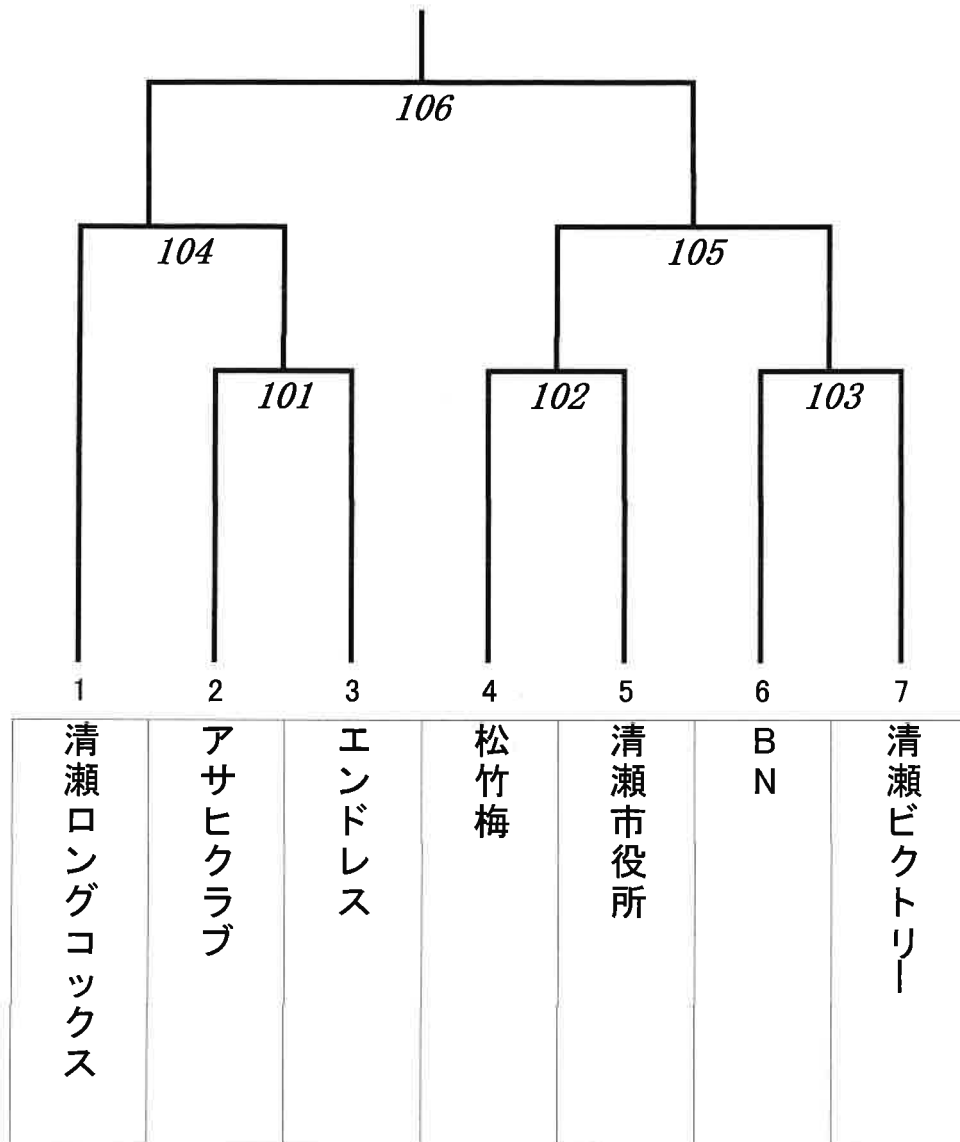
【競技・審判上及び試合のスピード化に関する注意事項】

1. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーの内1名とする。
2. 塁上の走者及びコーチスボックスやベンチから球種などを打者に知らせるためのサインを出すことを禁止する。
3. ストライク、ボール、フェア、ファウルボール、アウト、セーフ等の判定に対する抗議は認めない。
4. 打者が2塁打を打ち打撃用手袋から走塁用手袋に変える為にタイムをかける行為を禁止する。
5. 打者が頭部にヒットバイピッチを受けた時には、球審は攻撃側の監督と協議し、臨時代走の処置を行うことができる。
6. 前進守備時の野手の位置について
野手が打者の目につくところへの位置は、故意に打者を惑わすことと野手の安全を考慮して塁間の半分を目安とする。
7. 守備が終わり、最後のボール保持者は必ず投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
8. 競技場内（ベンチを含む）では、飲酒、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。
9. 攻守交代は駆け足で行うこと。監督またはコーチのマウンドへの行き帰りは、小走りでスピーディーに行うこと。
10. 投球を受けた捕手は速やかに投手に返球すること。また、捕手から返球を受けた投手は速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
11. 打者は、投手が投球位置にいるいないに関係なく、速やかにバッタースボックスに入ること。また、次打者は、必ず次打者席に入り低い姿勢で待つこと。投手も必ず実行すること。なお、サインはバッタースボックス内で見ること。
12. 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すためのタイムは認めない。

【その他細則について】

1. 選手は一つのチーム以外に登録することができない。
2. 試合中の事故によりけがをした場合必ず本部に連絡すること。球場への往復の事故について主催者は一切責任を持たないので充分注意の上、参加すること。
3. 職業野球競技者（プロ野球）で退団後のアマチュア復帰については、競技者必携の（公財）全日本軟式野球連盟競技者規第3条（職業野球競技者の連盟復帰）を参照する。

令和7年度清瀬市春季軟式野球大会 組合せ



若い番号が1塁側 イニング 9回戦 2時間15分制限
全試合コールドゲーム有 5回以降10点差 7回以降7点差
同点の場合、タイブレーク(無死1・2塁)2イニング、なお同点の場合抽選

令和7年度清瀬市春季軟式野球大会 日程表

月日	球場	試合順	1		役員
		メンバー表提出	8:50		
		開始時間	9:20		
2月23日	内山A	試合No.	101		原口

月日	球場	試合順	1	2	役員
		メンバー表提出	8:50	11:20	
		開始時間	9:20	11:50	
3月2日	内山A	試合No.	102	103	原田

月日	球場	試合順	1	2	役員
		メンバー表提出	8:50	11:20	
		開始時間	9:20	11:50	
3月9日	内山A	試合No.	104	105	原田

月日	球場	試合順	1		役員
		メンバー表提出	8:50		
		開始時間	9:20		
3月16日	内山A	試合No.	106		小林 山下会長

3/23 予備日

参加チーム代表者

7チーム

チーム名	氏名
アサヒクラブ	林 正朗
エンドレス	小川 和貴
清瀬市役所	土屋 大樹
清瀬ビクトリー	中島 拓也
清瀬ロングコックス	松本ジュニオール健太
BN	城野 正行
松竹梅	鈴木 哲太

試合記録表

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	タイプレーク ①	タイプレーク ②	計
	塁側												
	塁側												

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	タイプレーク ①	タイプレーク ②	計
	塁側												
	塁側												

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	タイプレーク ①	タイプレーク ②	計
	塁側												
	塁側												